

保健看護学研究法	増田 匡裕 教授
Advanced Research Methodology for Health and Nursing Science	宮井 信行 教授
	鹿村 真理子 非常勤講師
1 年次前期・必修	
2 単位・30 時間	

【概要・目標】

人のライフステージに応じた健康支援に関する研究方法の現状と課題を明らかにする。また、健康支援や生活の質（QOL）の向上を目指した EBM(N) の確立手法や生活支援に関する多角的な評価方法について探求するとともに、データベースの作成や活用方法について具体的に検討し、質的研究・量的研究の理解力や創造力を育成する。

質的研究法では、各研究手法の特徴とその理論的背景について学び、ディスカッションを通して研究論文をクリティークする能力を高めることを目標とする。また、量的研究法では、量的研究の計画立案・実施、統計解析の方法や解釈、論文における記述方法とともに、心理測定法の理論的背景について学び、クリティークする能力を高める。さらに、多変量解析などを中心とした統計モデルの実践的な使用を通して分析手法を獲得することを目指す。

【授業内容のスケジュール】 (担当)

1) 保健看護学研究法概論	宮井
2) 質的研究方法の概要特徴	鹿村
3) 質的研究手法における各分析方法の特徴	鹿村
4) 質的研究手法における理論的背景	鹿村
5) 質的研究論文における記述方法	鹿村
6) 質的研究論文のクリティーク	鹿村
7) 量的研究の基礎理論	宮井
8) 量的研究のデザインと特徴	宮井
9) 量的研究の計画立案と実施	宮井
10) 量的統計解析の方法と解釈、論文における記述方法	宮井
11) 量的統計解析の実践（多変量解析などの統計的手法）	宮井
12) 量的研究とエビデンスの活用	宮井
13) 質的データが多変量解析法 Multiple Correspondence Analysis (MCA) の応用	増田
14) 混合法としての Q-Methodology の紹介	増田
15) 会話分析 (Conversation Analysis) の理論と実用性	増田

【評価】

資料収集、発表・討議（30%）とレポート（70%）より総合的に評価する。

※評価責任者 宮井教授

【教科書】

増田担当回のリーディング課題は、新入生オリエンテーションの際に配布予定である。

【推薦参考図書】

特になし

【その他】 スケジュール調整や欠席に伴う再調整の方法については、受講生が協力して可能な限り早く各担当教員と連絡を取ることが望ましい。